

**2014-2016 年度中期事業計画を策定
～IBEX はリージョナルエアラインのトップリーダーを目指します～**

アイベックスエアラインズ株式会社(本社:東京都江東区・代表取締役社長:服部浩行)は、このたび2014年度～2016年度の中期事業計画を策定いたしました。

当社は創立以来、本邦初のリージョナルエアラインとして、「地域経済の発展に貢献する」という社是のもと事業規模の拡大を進め、今日では機材数9機、16路線54便を運航する規模まで成長を遂げることができました。

しかしながら今後の当社を取り巻く環境は、国内線における競争激化や円安基調によるコスト増大、長期的には国内航空需要の縮小傾向など厳しい状況が想定され、当社が将来に亘り成長・発展していく為には事業基盤のさらなる強化が不可欠であります。

この中期事業計画では、将来ビジョンを「リージョナルエアラインのトップリーダーを目指す」とし、事業基盤強化の為のビジョンの具現化を図ってまいります。

アイベックスエアラインズは、今後も安全運航を最大の使命とし、本邦におけるリージョナルエアラインのパイオニアとして、高品質な航空輸送サービスを提供してまいります。

記

1. 基本方針

リージョナルエアラインのトップリーダーを目指すべく、事業基盤の強化を図るとともに、社員一人ひとりがやりがいを持てる取組みを強化してゆきます。

2. 重点施策

(1) 安全運航の堅持と基本品質・商品力の向上

安全運航の堅持を根幹とした「基本品質」・「商品力」の向上により、顧客満足度の向上を実現します。

(2) 低コストオペレーションの実現

リージョナルエアラインの特性を活かし、お客様ニーズに応え得る低コストオペレーション体制を実現します。

(3) 人財力の向上

社員一人ひとりの能力を高め、且つ、やりがいを持てる職場環境を実現します。

(4) 重点施策における数値目標

- ① 創立以来、事故・重大インシデント「ゼロ」の継承
- ② 就航率 98.5%、定時出発率 95%以上の達成
- ③ ユニットコスト 12 円台の達成

3. 事業計画

(1) 機材計画

- ① CRJ700NG 型機(70 席)への早期の機種統一を図り、運航品質の向上とコスト削減を実現します。
- ② CRJ700NG 型機(70 席)を 2015、2016 年度にそれぞれ 1 機(計 2 機)導入します。
- ③ CRJ100 型機(50 席)を 2014、2015 年度にそれぞれ 1 機(計 2 機)退役させます。
- ④ CRJ200 型機(50 席)は 2016 年度を目途に退役を開始することを検討します。

(2) 路線計画

競争環境や需給バランス、収益性を鑑みた効率的なネットワークを構築し、仙台、大阪(伊丹)発着路線を中心とした地方中核都市間の新路線開設や既存路線の再編について検討します。

(3) 収支計画

中期事業計画の各種施策による事業収入の拡大と、低コストオペレーションの推進によるコスト競争力の向上により、2016 年度には事業収入 139 億円(2013 年度対比 112%)、営業利益約 5 億円の達成を目指します。

以上